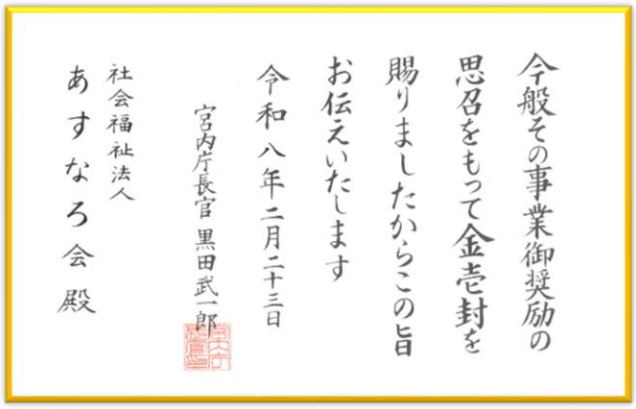
社会福祉法人あすなろ会が
天皇陛下より
優良民間社会福祉事業施設・団体
として、御下賜金を賜りました。

天皇陛下におかれましては、天皇誕生日に際し、民間社会福祉事業御奨励のご意向をもって、毎年、全国の優良社会福祉事業施設・団体に対し、金一封を下賜されますが、今年度、島根県からは社会福祉法人あすなろ会が拝受団体として決定され、島根県・丸山知事様から伝達していただきました。


今般その事業御奨励の
思召をもって金壱封を
賜りましたからこの旨
お伝えいたします
令和八年二月二十三日
宮内庁長官 黒田武一郎
社会福祉法人
あすなろ会 殿

令和８年２月２６日（木）
島根県庁にて

左から　あすなろ保育園園長 業務執行理事 竹内千恵子　島根県知事 丸山達也様　理事長 竹内一夫　副理事長 産業医 竹内慶和　あすなろ第２保育園園長・事務局長 竹内寛和

「歩みが認められうれしい」
あすなろ会に御下賜金（ごかしきん）伝達

天皇陛下に際し、優良民間社会福祉事業施設・団体に贈られる天皇陛下からの御下賜金が26日、島根県庁で伝達された。県内の拝受団体に決まった社会福祉法人あすなろ会（出雲市白枝町）の竹内一夫理事長に、丸山達也知事が伝達書と御下賜金（ごかしきん）を手渡した。

御下賜金は、民間社会福祉事業御奨励のご意向のもと、毎年全国の優良施設・団体に下賜されるもので、都道府県の推薦を受け選定される。

式後の懇談で丸山知事は「法人としての運営は大変合理、保育や高齢者福祉を総合的に展開してこられた点が高く評価されたのではないかと思う」と述べ、人手不足の中で働きやすい職場環境づくりに取り組む姿勢にも敬意を示した。

竹内理事長は「創立55年の歩みが認められ大変うれしい。先代の思いを受け継ぎ、地域の困りごとに応えたい」と感謝を表明。「ご厚意を糧に、子どもから高齢者までしっかりと支え続けたい。職員一同、地域福祉のために力を尽くす」と決意を語った。

同法人は1971年にあすなろ保育園を開設。県内初の軽費老人ホームを設けるなど、保育・児童福祉・高齢者福祉を一体的に展開し、三世代交流を特色とする事業を続けている。半世紀を超える地域密着の取り組みが、今回の栄誉につながった。

優良民間社会福祉事業施設・団体に贈られる天皇陛下からの御下賜金が26日、島根県庁で伝達された。県内の拝受団体に決まった社会福祉法人あすなろ会（出雲市白枝町）の竹内一夫理事長に、丸山達也知事が伝達書と御下賜金を手渡した。御下賜金（ごかしきん）を手に竹内一夫理事長（中央）ら関係者と丸山知事（左から3人目）＝26日、松江市殿町の県庁

R8.2.27(金)　島根日日新聞掲載記事

伝達前の各担当課の方との懇談会

入室時の様子

伝達の様子

伝達時の懇談会

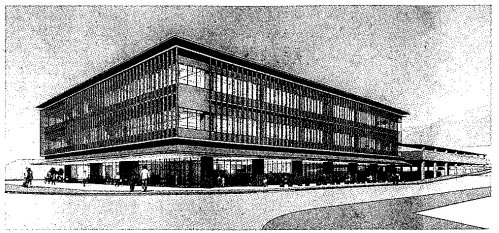
島根日日新聞
令和8年（2026年）
2月27日（金）
発行所
島根日日新聞社
〒693-0001 出雲市今市町743-22
出雲　編集（0853）23-6760
営業（0853）23-6777
FAX（0853）24-3530
メール hensh@shimanenichinichi.co.jp
松江　TEL（0852）31-1041
FAX（0852）31-9205
雲南　TEL（0854）45-3991
FAX（0854）45-3993
大田　TEL（0854）82-7388
FAX（0854）82-7366

LIVING SHIMANE
月刊無料情報紙
リビングしまね
さまざまな情報満載!
出雲・松江・雲南・大田市内にて設置中!

4階建て 延べ6000平方㍍に縮減

大田市新庁舎

総事業費84億9000万円



大田市新庁舎完成イメージ

大田市は25日、市役所新庁舎整備に関する基本設計（素案）を市議会新庁舎建設調査検討特別委員会に示した。物価上昇分を含めた概算事業費が84億9000万円になると明らかにした。建設費高騰が続く中、庁舎機能の絞り込みや階数変更など大幅な見直しを行い、2024年3月策定の基本計画時（81億～85億円）と同水準に抑えた。供用開始は30年度を見込む。

新庁舎は大田市駅前に建設する。基本設計では建物を5階建てから4階建てに変更。延べ床面積は基本計画時の8200～8500平方㍍から約6000平方㍍へ縮減した。将来の人口減少を見据え入居職員数を見直し、執務室面積を約640平方㍍減。廊下や階段など共用部も整理した。

書庫・倉庫は、書類の電子化や物品量の精査を進め、750平方㍍から240平方㍍へ縮小。既存備品の活用や購入数量の見直しで経費も圧縮した。立体駐車場も160台から124台へ減らし、面積を約465平方㍍縮減するなど、付帯施設も抑制した。こうした見直しにより、見元の単価で見積もった事業費（実勢価格ベース）は71億7800万円となった。

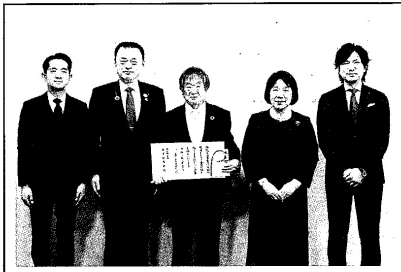
一方、近年の建設物価の上昇を踏まえ、直近3年間の年平均上昇率4・3％を事業費完了まで見込んだ結果、物価上昇分として13億100万円を加算。総額は84億8900万円となった。

財源内訳は地方債67億2000万円、公共施設総合管理基金などの17億3000万円、一般財源4000万円。地方債のうち「緊急防災・減災事業債」や「脱炭素化推進事業債」を活用するが、その後は減少など有利な起債を活用し、後年度に交付税措置で20億100万円が補填される見込み。これを差し引いた市の総事業費に占める実質負担額は64億8000万円で全体の76・3％。

市の地方債残高は24年度末で299億円。新庁舎整備など大型事業により一時的に増加するが、その後は減少に転じ、35年度に50億円程度とする見通しを示した。単年度公債費管理、後年度の準化を図るとしスケジュール27年度に実施許認可手続き、27年度以降に手。新庁舎本体28～29年度を完成め、30年度内に始を目指す。

「歩みが認められうれしい」

あすなろ会に御下賜金伝達



御下賜金を手に竹内一夫理事長（中央）ら関係者と丸山知事（左から2人目）＝26日、松江市殿町の県庁

天皇誕生日に際し、優良民間社会福祉事業施設・団体に贈られる天皇陛下からの御下賜金が26日、島根県庁で伝達された。県内の社会福祉法人あすなろ会（出雲市白枝町）の竹内一夫理事長に、丸山達也知事が伝達書と御下賜金（ごかしきん）を手渡した。

御下賜金は、民間社会福祉事業奨励のご意向のもと、毎年全国の優良施設・団体に下賜されるもので、都道府県の推薦を受け選定される。

式後の懇談で丸山知事は「法人としての過去約45年の活動、保育や高齢者福祉を総合的に展開してこられた点が高く評価されたのではないかと祝賀を添べ、人手不足の中で働きやすい職場環境づくりに取り組む姿勢にも敬意を示した。

竹内理事長は「創立55年の歩みが認められ大変うれしい。先代の思いを受け継ぎ、地域の困りごとに応えたい」と謝意を表明。「この栄誉を励みに、子どもから高齢者までしっかりと支え続けたい。職員一同、地域福祉のために力を尽くす」と決意を語った。

同法人は1971年にあすなろ保育園を開設。県内初の軽費老人ホームを設けるなど、保育・児童福祉・高齢者福祉を一体的に展開し、三世代交流を特色とする事業を続けている。半世紀を超える地域貢献の取り組みが、今回の栄誉につながった。

地元企業の魅力体感

学生と社会人が本音交流

田大

若者の地元定着を目指し、大田市内企業の魅力を直接伝える交流イベントが21日、大田商工会議所（大田市大田町）で開かれた。市出身の大学生ら15人が参加し、市内企業で働く社会人と本音で語りあいながら、就職をより身近な選択肢として考える機会にした。

主催は大田地域人材確保促進協議会（会長・福野弘和町長）とおおだ学生アンバサダー。おおだ学生アンバサダーは、市出身学生が地元企業への就職促進役を担う制度で、2022年度始まった。

イベントはアンバサダー6人が中心となり、約半年前から企画や運営、集客などの準備を進めてきた。社会人との会話のハードルを下げ、リラックスした雰囲気をつくろうと、アロマミスト作りやレザークラフト制作のワークショップを取り入れた。

市内企業5社から7人が参加。4グループに分かれて制作を行いながら交流し、その後を使って20分ごとにグループを入れ替え座談会を実施した。仕事に求めるものや働きが、勤務形態、初任給などについて率直に意見を交わし、学生たちは将来像を具体的に思い描いていた。

春休みの帰省を利用して参加した京都府在住の大学1年生、波多野緑さん（19）グループに21日、大田

消費減税、国民会議が初会合

中道・国民欠席　首相「早期に法案

政府は26日、消費税減税と給付付き税額控除について議論する「社会保障国民会議」の初会合を首相官邸で開いた。高市早苗首相は2年間の食料品消費税率ゼロを念頭に、「できるだけ早期に必要な法案の国会提出を目指したい」と説明。野党を巻き込んで速やかに道筋を付けたい考えだが、中道改革連合と国民民主党は参加を見送った。

初会合には自民党の小林鷹之政調会長や自本維新の会の藤田文武共同代表が出席。野党はチームみらいだけで参加した。

首相は「全世代が納得感を得られる社会保障の構築に向け、国民的な議論を進める」と強調。「税、社会保険料負担、物価高対策を中心に、低所得者を緩和したい」とした。

安野氏は「スピーディーに食料品の税率を下げることが第一だ」と主張。「ゴルフ場の問題などもあるなら社会保障の財源に引き下げを優先すべきだ」と話した。

今後は党内で議論を深めるとの方針を示した。

購読のお問い合わせ